



幸せな長寿福祉社会目指し

第二町民体育館で高齢者福祉大会



金婚夫婦表彰を受ける小桧山さん夫婦

第40回町高齢者福祉大会は10月23日、第二町民体育館で開催され、町老人クラブ連合会の戸田忠義会長あいさつの後、役員表彰などが実施されました。

町内の老人クラブ会員ら約450人が出席し、健康で幸せな長寿福祉社会の実現を目指し、協力しあうことを誓い合いました。

式に続いて、福島民報社と県老人クラブ連合会主催の「しあわせ金婚夫婦表彰」も実施され、47組が表彰を受け、代表として小桧山慎さん・茂子さん夫妻(山潟老人クラブ寿会)が、表彰状と金メダルを受け取りました。

釣巻ミヨシさん満100歳に

知事賀寿が贈呈され100歳を祝う



おめでとうございます。いつまでもお元気で

10月6日に満100歳の誕生日を迎えた釣巻ミヨシさん(西真行)への知事賀寿贈呈式は同日、町内の自宅で挙行されました。萩尾正人会津保健福祉事務副所長が、知事賀寿と記念品の会津漆器の木杯を贈呈。続いて津金町長、戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿と記念品を手渡しました。

花束贈呈の後、ミヨシさんの孫の善宏さんが謝辞を述べました。食事は3食きちんと食べて、好物は刺身だという釣巻さん。長生きの秘訣は「体を動かし、食事をきちんと取る」ことだそうです。

新病院と博士の立像が完成

町立猪苗代病院で落成式を挙行



落成式であいさつする津金町長

町が県からの移譲を受け、一昨年の4月から運営している町立猪苗代病院。その新病院が完成し10月30日、落成式が催されました。式には町、病院関係者や来賓など約250人が出席。

津金町長が「新しい町立病院を末永く愛し、育ててほしい」とあいさつ。病院の指定管理者である温知会の武市和之会津中央病院長が「温かい医療サービスの提供を目指す」とあいさつした後、松本友作副知事らが祝辞を述べました。

落成式に続いて開催された野口英世博士立像除幕式では、国内では4体目となる博士の全身像が披露されました。

立像建設のための運動を展開してきた、野口英世博士立像建設募金実行委員会の楠俊道さんは「町民の皆さんの貴重な浄財のおかげで、立派な像を立てることができました」とあいさつ。

立像を制作した雨宮透さんは「人間・野口英世と母シカの思いをイメージに込めた」と制作中は、シカの写真をテーブルに置きながらの作業だったことを明かしました。

八子弥寿男野口英世記念館長、博士のめいに当たる土金綾子さんが祝辞を述べた後、関係者らが除幕し、立像の完成を祝いました。



ついに完成した野口英世像

力強く走り抜くことを誓う

ふくしま駅伝猪苗代チーム結団式



選手たちへの応援よろしくお願いします

第21回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)に出場する町選手団の結団式は10月17日、町体験交流館学びいなどで開催され、選手、コーチなど約40人が出席しました。

土屋重憲教育長、関沢和人議長(しげのり)の激励の後、1人1人にユニフォームが手渡され、五十嵐幸夫監督が「町の名誉にかけて頑張る」とあいさつしました。

選手を代表して、五十嵐史朗さんが「町民の皆さんに勇気と希望、感動を与えられるよう、全力で走り抜く」と宣誓し、大会での活躍を誓いました。

猪苗代湖の水環境を守ろう

湖北岸のヨシ刈り、ごみ撤去実施



湖岸に生い茂ったヨシは身長よりも高く成長していました

猪苗代湖北岸のヨシ刈り、ごみ撤去作業は10月22日、町、県、環境省や地元関係団体などが参加して猪苗代湖北岸で開催されました。

県内の各種団体や県民ボランティアなど、33団体から約300人が参加して、ごみや不法投棄廃棄物の清掃、ヨシ刈り作業などを実施しました。

参加者たちは、取っても取っても出てくるごみに悪戦苦闘しながら、廃プラスチックや農業資材を拾ったり、ヨシを刈り取ったりしていました。